

北大路中だより

大津市立北大路中学校 学校通信 第5号 令和6年7月19日発行
生徒数 314名(1年86名 2年115名 3年113名) 校長 菊谷 愛

校訓 自主力行

〈学校教育目標〉

豊かな知性と情操を備え、心身ともに健康で「自主力行」に励む生徒の育成

きたおおじの「き」は、基礎基本を大切にする生徒

4月の始業式・入学式で、北大路中学校の校訓「自主力行」について話しました。「自主力行」とは、「何事にも自分から進んで取り組み、自分で決めたことを粘り強く実行する」という意味でした。めざす生徒像の「き」は、基礎基本を大切にする生徒です。中学生にとっての基礎基本となるのが学習で、その土台となる規則正しい生活や挨拶など基本的な生活習慣を大切にしてください。

さて1学期を振り返って、皆さんの学校生活はどうでしたか。自分の目標の実現に向かって、今も取り組みを継続しているでしょうか。基礎基本を大切にし、相手を思いやるおおらかな心を持って一人ひとりが笑顔で学校生活を送ってくれることを願っています。

「練習でできないことは、本番でもできない。」

「練習でできないことは、本番でもできない。」この言葉は、プロフィギュアスケーターの羽生結弦さんが出身地の放送番組で語ったものです。羽生さんは「基礎をしっかりと身につけることが、どんなスポーツでも成功の鍵である」と語り、「基礎から頑張って、つまらないことをカッコよくできるまで頑張る」ことを目指してきたそうです。難易度の高い技に挑戦するために、練習を重ねたからこそ、オリンピックでの成功を取めることができたのです。

明日から夏季総体、吹奏楽コンクールが始まります。普段できないことは、いざという時、すなわち本番でもできないことが多いものです。これは普段の部活動や勉強でも同様のことです。本番では、普段一生懸命に練習していることを信じて、自主力行の精神で粘り強くがんばってきてください。応援しています。

そして、これから来る夏休みを、安全に有意義な夏休みになるよう、基礎基本を大切にして過ごしてほしいと思います。2学期に皆さんと元気に再会できるよう事故やけがのないよう自ら気をつけてください。



(壮行会)

第1回 学校協力者会議を開催しました

7月2日に、第1回学校協力者会議を開催しました。学区の自治連合会、社会福祉協議会、青少年育成学区民会議、民生委員児童委員協議会、主任児童委員、少年補導委員、PTA、富士見小学校長、晴嵐小学校長の皆様へ、授業の参観と校舎見学をしていただいた後、情報交換や意見交換を行いました。また、生徒会の代表が、今年度の取組やプロジェクトの計画について説明しました。

各委員の皆様からは、たくさんのお話をいただきました。

- ・授業では先生と和気あいあいとした雰囲気が見られた。
- ・夢プロジェクト、いじめダメプロジェクトなど、生徒の思いや活動を受け止めたい。
- ・校門で出会った生徒が「こんにちは」と声を出して挨拶してくれた。進んで挨拶したり、自己表現できるようになるためには、人と触れ合って会話することで身に付けていく。
- ・教室に掲示している個人の夢や目標を達成してほしい。
- ・学校選択制による生徒数減少について、希望部活動の有無や長寿命化改良工事、公共交通の困難など課題はあるが、学校の良さを発信する必要がある。
- ・学校に来れない生徒が校内ウイングを活用できるといい。
- ・地域の祭りの後、遅くまで話して帰宅しない中学生がいる。パトロールと合わせて家庭の指導も必要。



委員の皆様からいただいたご意見やご感想は、学校にとって貴重であり、ありがたいことでもあります。これからも学校と保護者・地域の皆様とよりよい関係のもとに、生徒の笑顔があふれる学校づくりを進めてまいりたいと思います。

裏面へ →→→→→